

## 運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

## 1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

## 2. 開催を予定していた日時・場所

日時	令和 3年 5月 14日 13時30分 ~ 14時	場所	医師会館理事長室
----	---------------------------	----	----------

## 3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	牛久保西町内会 会長
井澤 一成	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司 (欠)	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
斉木 和夫	当該サービスに知見を有する者	斉木クリニック 院長
小林 雅子	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
松信 哲朗	当該サービスに知見を有する者	仲町台駅前まつのぶクリニック 院長
澤野 直美	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
大山 学	法人代表	
吉井 涼子	管理者	
宮島 佳代	看護主任	
箕輪 善果	看護リーダー	
青柳 かおる	副管理者	
後藤 瑞佳	事務	
加藤 萌子	事務	

#### 4. 活動状況報告

別紙(様式2~4)のとおり

#### 5. 活動状況に関する評価・意見・要望

・職員みんな元気で働いて頼りにされている  
・色々な事の中止が多い中、利用者のために精一杯やっていて感謝したい  
・様々なことがコロナで中止になった結果、高齢者のおうち時間が長くなり、機能低下が否めない。気持ちが落ち込んでいる方も多く、元気づくりステーションを活力つけるよう工夫をしながら取り組んでいる、日頃の積み重ねが重要で  
す。3,4月の音楽、体操イベントなど参考になった。  
・昨年度、一昨年度と比べ、通所の割合は変わったか？  
⇒割合は変わっていない。収支は、一昨年に比べて上がった。報酬的にプラスになったのは、訪問に介護職員が月  
200回以上行けるようになったので、毎月加算が取れるようになったこと、医療の利用者の報酬が別途あること。  
・泊りの時の家族の面会について、病院などは、面会厳しく制限が多いが、ナーシングでは限られた時間を家族で過ご  
してもらおう、面会の人数制限や来所時間を限って連絡もらい面会に来てもらっている。

#### 6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

上記、5. 活動状況に関する評価・意見・要望 と一緒に記載

#### 7. 地域からの情報提供

特になし

#### 8. その他特記事項

特になし

※ 会議は原則事業所内で行ってください。  
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況

登録者数( 4月 30日現在)	女性 6名	男性 10名	計 16名					
要介護度	要支援1 名	要支援2 名	要介護1 名	要介護2 1名	要介護3 2名	要介護4 3名	要介護5 8名	申請・区変中 2名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者(匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	22	1	8	1 (訪問看護)
イ	9	0	24	5
ウ	11	3	7	19
エ	10	0	5	5 入院:4/6~4/7
オ	9	0	43	3 終了:4/25
カ	19	16	20	8
キ	9	0	22	6
ク	30	26	5	5
ケ	22	18	25	81
コ	27	25	2	4
サ	22	17	2	64
シ	6	0	9	16 入院:3/24~4/12
ス	10	1	26	0
セ	10	3	19	6 入院:4/23~5/9
ソ	30	29	0	46
タ	16	11	4	19 死亡:4/30
チ				
ツ				
テ				
ト				
ナ				
ニ				
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				
ヘ				平均要介護度 4.28
平均	16.38	9.38	13.81	

#### 4. 運営方針

事業所の目標	(法人の理念、長期目標、月間目標など) 【利用者の獲得】1.適切な職員の確保と黒字転換 2.「ケアの理念」の実現「ケアの理念」:その人の「生きる」を支える。
目標に向けた具体的取組	1..カンファレンス等での利用者の情報共有を継続する 2.三蜜にならないように配信を活用し研修会を実施する。 3..利用者や家族の意向を反映した介護・看護での計画と共有を行う 4..地域に向けた研修計画の実施 5...新規職員の獲得とともに、既存の職員が充実した仕事ができ辞めないようにする

#### 5. 活動報告

(事業所の雰囲気、レクリエーション等の詳細、利用者の様子、職員研修など、サービス全般について自由に記載)	
【3月】	運営推進会議 安全衛生委員会・管理者会議 運営会議 研修会: 誤嚥性肺炎 イベント: 体操、音楽鑑賞
【4月】	ワクチン接種 安全衛生委員会・管理者会議 健康診断 運営会議 イベント: 絵画、ピアノとギターに合わせて、ちぎり絵

#### 6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	1. 気管カニューレの内筒破損 NH通所中に気管カニューレの内筒洗浄時、痰の付着著明で熱めのお湯にジョイ(洗剤)を入れてつけ置きした。20分後、まだ痰が付着しており、指でつまんで優しく擦ったが取れず、NHIにあるブラシで内筒内をブラッシングし、水で流し乾燥させて装着した。その後、吸引時に引っ掛かることが気になったが、本人は違和感がない事を確認。その日に帰宅し、家族が内筒に亀裂を発見し、NHIに連絡があった。洗浄時に破損させて可能性が高い。
改善策	取り扱い説明書を確認、汚れが付着していても無理にとろうとせず、37℃前後のお湯にジョイをつけ置きするのみとする。洗浄後は破損がないかを確認する
内容	2. 吸引器洗浄時のセッティングミス 夜勤者が吸引を試みるが作動せず。接続部チェックするが原因分からず、介護リーダーを呼び一緒に確認する。吸引瓶の蓋のゴム接続部が閉まっておらず作動しなかったことが分かった。
改善策	吸引器を洗浄した職員は、必ず動作確認をする
内容	3. 利用者がアルコールジェルを口腔内に含んだ 当該利用者に排泄介助の了承を得て、一旦退室し、準備をして部屋に戻ると、「これ胡椒が入っているようで辛い。」とオーバーテーブル上にあったアルコールジェルを指さした。本人に状況を聞くと、息を大きく吸う動作をしながら2回押ししたとのことで、吸入器と間違えている事が分かった。 【対応】直ぐに看護師を呼び、含漱を数回行くと口の中の違和感はなくなったとのこと。本人は、飲み込んでいないと言い、咽頭などの違和感の訴えもないため、誤飲は無かったと推察した。主治医に報告、経過観察し変化があれば再度連絡するようにと指示あり。その後、昼食は全量摂取し、異常なし。翌日、臨時往診があったが問題ないということだった。手の届くオーバーテーブルにアルコールジェルを置いていた。最近は混乱した言動が多くなり、見当識に問題があると感じていたが、今回の事態の予測はしていなかった。
改善策	手の届くところには、飲み物のコップ、ティッシュ、吸入器の必要な物のみ置く。頻回に訪室をして見守る回数を増やす。

内容	4. 転倒 入浴後の着替えの際に手すりにつかまり立ち上がっている状態から、手引き介助に移る際、利用者がかけていたメガネが床に落ち、咄嗟に拾おうとした利用者の動作に対応できず、共に尻餅をつくように床に座りこんだ。痛み等はなかったため、浴室にいたヘルパーと二人介助で起立介助させ、デイルームまで歩行。その後、看護師に報告し、尻餅をついた箇所を確認、赤みや痛みなし。家族と主治医に報告。メガネの破損は無かった。普段、浴室には持参しないメガネをかけており、フレームが緩いことを分かっていなかった。手引きに移る際にしっかりと肘辺りまでつかめていなかった。
改善策	当該利用者は、メガネは浴室に持ち込まない。手引き歩行の際は、肘下まで支え、介助者の腕もしっかりつかまってもらうよう声掛けをする。緊急時にはまず落ち着き、利用者の発言だけで判断せず看護師に連絡する。
内容	5. 車両事故 利用者乗車時の車両の破損 訪問宅の道路に面した駐車場にバックで駐車しようとしていたが、右後方からトラックが来たため、慌てて左前方に切り返そうとし、ドライブにギアチェンジしなかったため、車両はバックし左後方のバンパーを利用者宅の壁面の角にぶつけてしまった。利用者は、後部座席の左側に座っていたが、利用者に状態を確認すると「大丈夫」との返事があり、頸部・肩関節周囲の状態を確認し大きな問題はないと判断した。別件で介護リーダーから電話をした際には事故の報告をしていない。その後、帰路の途中で事業所に連絡し上司に報告、直ぐに車両担当と看護師1名が現地に向かい、利用者の身体的観察と、警察に通報し事故処理を行った。
改善策	事故の際は大小関係なく、直ぐに事業所に報告するように再度周知した。本人の行動を共に振り返り、次からの行動に繋げるようにする。
内容	6. 車両の物損 利用者宅の車庫に入庫する際に、車庫の上部に出ている支柱に訪問車の天井を当ててしまった。
改善策	利用者・家族には状況説明し、謝罪した。家族に確認をしてもらったが修理は必要なし

#### 7. 地域への情報提供

昨年度の事業所評価を実施し、前回の運営推進会議の紙面で構成員の方々にはご意見を頂いた。その意見を踏まえ、運営推進会議での自己評価表を作成し、構成員に示した。  
今年度は、地域に向けた研修会を中川地域ケアプラザに協力を仰ぎながら実施する予定。

#### 8. その他特記事項

(職員の入退職・異動等)  
特になし